

横浜市南区社会福祉協議会は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らしていくために、ボランティア、福祉・保健関係者や行政の協力を得ながら地域の福祉活動を進め、またその活動を応援する組織です。

もくじ

- ①面…身近な活動を通して健康づくりを進めよう!
- ②面…お三の宮地区「お三の宮健康体操の会」・
のじま自然観察探見隊「みんなにわ」
- ③面…南区社協からのお知らせ・ご報告

身近な活動を通して健康づくりを進めよう!

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、“外出を控える”、“集まったの活動（3密）を避ける”等の対策によって、「活動の機会が制限されてしまった」との声を多く耳にします。外出や活動の制限により、“集いの場”、“通いの場”などが減少し、健康や交流の機会に大きな影響が出ています。感染防止の対策をしっかりと取り、可能な範囲で無理なく体を動かし、心身ともにリフレッシュしてみませんか。

ポイントをおさえてトライしてみよう!

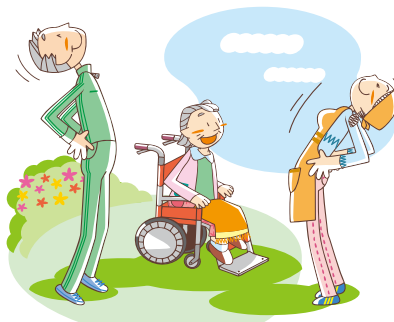
① 人混みを避けて散歩をしよう



ポイント

準備運動とストレッチで効果アップ!

② 家や公園でできる運動・体操をしよう



ポイント

表情も意識して、笑顔で取り組もう!

③ 日常生活で身体を動かそう



ポイント

『階段を使う』、『電車では立つ』など何気ない行動も見直してみよう!

日頃から体を動かすことが大切なんだね。
だけど…無理は禁物!
自分の体と相談しながら取り組もう!



一人ひとりの心がけが、私たちの「健康」につながっていきます。
こんな時だからこそ、「人とのつながり、地域とのつながり」についてみんなが笑顔になれる新しいつながりについて考えてみませんか。

元気に!
たのしく!

集いの場所を大切に活動しています!

～心と体を整えよう～

お三の宮地区「お三の宮健康体操の会」



『お三の宮健康体操の会』では、地区内の民生委員・児童委員、保健活動推進員、友愛活動推進員を中心に、支援者側の健康づくりを目的とした『3B 体操・チューブ体操・気功』を取り入れたプログラムを、毎月第1金曜日に連合町内会館で活動しています。

一時は、緊急事態宣言の発令により活動を休止しましたが、「担い手が健康であってこそその地域活動であり、これが地域支援に繋がって欲しい」との思いのもと、1回目の宣言解除後は継続的に、支援者の健康づくりに励まれています。

By トモニー

自分の健康維持が、地域活動の応援につながるんだね!
この活動をきっかけに、もっと地域が元気になるといいなあ!



代表の方からは、「コロナが終息すれば、活動の範囲を広げていきたい。より多くの方々に向けて活動を発信し、地域が元気になるきっかけにしたい」と次なるステージに向けた積極的なお話が伺えました。

～みんながにっこり輪をつくる～

のじま自然観察探見隊「みんなにわ」



「身近な自然を探見」をテーマに横浜市内で活動される、『のじま自然観察探見隊』の活動のひとつ『みんなにわ』では、4年前より南区六ツ川エリアにて農業体験を行っています。

はじめは、探見隊が南区で行う子ども食堂コドイチ。せっかくなら、食堂で提供するごはんに、「自分たちで育て、収穫した野菜を食べてもらえないか」と考えたことが、活動のきっかけとなりました。また、縁あって六ツ川エリアで畑を貸していただくことが決まり、地域の方のご協力のもと『みんなにわ』活動のスタートに至りました。

参加者の親からの「コロナ禍でも何とか工夫して活動を続けてほしい。子どもが外に出る機会をなくさないでほしい」との声から、活動を必要としている方が多くいることを実感。改めて『みんなにわ』の活動が、子どもたちの居場所のひとつになっていると感じるとともに、学校では味わえない体験やこの場所だからできることを経験してほしいと活動への思いを話されていました。

今後の展望については、「地域の方がほっとひと息つける、地域と繋がれる場にしたい」と未来に向けた素敵な話が伺えました。



By トモニー

畑が子どもたちの居場所になっているんだね!
ばくも野菜収穫体験してみたいなあ。

南区社協からのお知らせ・ご報告



令和2年度 南区社会福祉協議会事業報告



令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な本会事業や各地区における活動の他、第4期南区地域福祉保健計画策定に向けた取組が一時休止となりました。

そのような中、「新たな日常」の視点でどのような支援や活動ができるか、試行錯誤しながらの一年となりました。

各地区においても、例えば食事サービスやサロン、子どもの居場所などを「集会型」から、安否確認を踏まえた「訪問型」・「フードパントリー型」への変更、郵便・電話やSNSの活用など、「つながり」を途切れさせない、工夫を凝らした活動が展開されました。また、その状況は、地域活動発表会にて、井土ヶ谷・六ツ川大池の両地区社協より事例発表が行われ、後日その様子が動画配信されました。

収支決算報告

区分（事業別）毎の内訳

（単位：円）

区 分	収入決算額①	支出決算額②	収支差額③＝①－②
法人運営	30,343,717	30,570,692	△ 226,975
ボランティアセンター事業	230,000	118,638	111,362
地区社協活動支援事業	3,110,000	3,674,055	△ 564,055
福祉保健活動拠点運営	17,289,442	17,299,908	△ 10,466
共同募金配分事業	10,126,277	8,869,537	1,256,740
善意銀行運営	694,411	735,800	△ 41,389
送迎サービス事業	2,548,436	2,743,350	△ 194,914
移動情報センター事業	10,546,131	10,841,059	△ 294,928
権利擁護事業	925,200	925,200	0
地域福祉推進事業	517,910	524,335	△ 6,425
ふれあい助成金配分事業	5,974,600	5,973,940	660
福祉基金	7,777,351	7,820,510	△ 43,159
合 計	90,083,475	90,097,024	△ 13,549

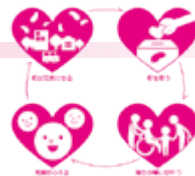


活かされています！赤い羽根共同募金

～ひとりひとりのあたたかい気持ちが南区の福祉を支えています～

共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」です。

都道府県ごとの地域福祉の推進を図るため、皆さまからの募金を活用して、民間の福祉施設や団体が実施する様々な事業を支援することを目的としています。



善意銀行配分金募集

地域の皆さまから頂いたご寄付を、南区内の必要としている地域福祉団体の活動支援に配分を行います。

【対象】 地域福祉を推進することを目的とし、原則活動拠点を南区とする団体

【申込期間】 10月1日～10月31日

※期間前も随時相談を受付けております。

【お問合せ】 南区社会福祉協議会 Tel 045-260-2510



善意銀行寄付者

（令和3年4月1日～令和3年6月30日）

※敬称略、順不同

黒板 五郎／星空 みゆき

手芸ボランティア すずらん

柳下 定子

NPO 法人 みなみ区民利用施設協会



編集・発行

社会福祉法人 横浜市南区社会福祉協議会

〒232-0024 横浜市南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階
TEL：045-260-2510 FAX：045-251-3264

ホームページ <http://www.minami-shakyo.jp>



編集委員／有藤勲・上野隆子・大八木綾子・小川正治・高橋祥世・永井正己（五十音順）

ボラぴ!!

no.35

「ボラぴ!!」のぴは
ピッピッと感じるアンテナ
ピースのぴ
ぴかいちのぴ
Pit inのぴ



それから...

南区ボランティアセンター
南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階
Tel. 260-2531 Fax. 251-3264
◆開館：年末年始をのぞく午前9時～午後5時◆
(日・祝祭日も開館しております)

コロナに負けず、工夫しながら活動しています

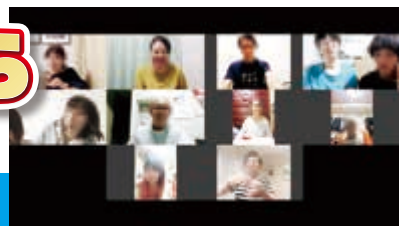
手話サークルかもめ

「手話サークルかもめ」は手話の学習だけではなく様々な行事を通してろう者との交流をしています。毎週木曜日の夜にフォーラム南太田で定例会を行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大によるまん延防止等重点措置で会場のフォーラム南太田の利用可能時間が20時までとなっている間は、Zoomで定例会を行っています。

定例会は、Zoomの音声は切り、音は一切使わず手話のみで行い、スマートフォンだと1画面に4名までしか表示できないため、ブレイクアウト機能を使って1グループ4人まででグループを作りテーマに合わせたトークをしています。

オンライン開催中は見学ができませんが、定例会の様子や今後の活動についてブログに掲載しています。

「手話サークルかもめ」ブログ http://blog.livedoor.jp/kamome_shuwa/



手芸ボランティアすずらん

イベントで手作りの作品を販売して収益を寄付している「手芸ボランティアすずらん」は、感染症対策を取りながら第2・第4月曜日12時～15時に大岡地域ケアプラザで作品作りをしています。

作品は手作りで丁寧に作られているので、南まつりや南なんデー等では開会前から「どれを買おうか」と眺めている方が多く、コロナの影響でイベントが中止となって残念に思っている方も多いのではないのでしょうか。作品は毎月第2・第4月曜日と第3水曜日の11時～15時に大岡地域ケアプラザで販売をしていますので、足を運んでみてはいかがでしょうか。

* 9月の作品販売は第3水曜日のみとなります。



南区災害ボランティアネットワーク ～コロナ禍での災害に備えて活動中～

南区災害ボランティアネットワーク（南区災ボラ）では、対面と昨年9月に学んだZoomを併用して運営委員会を開催しています。Zoomを取り入れたことによって、仕事や家庭の都合で会場までの往復の時間を考えると会議に参加できないという方も参加することができるようになりました。

また、今年度はかながわ災害情報連絡会に団体登録し、有志が「災害ボランティアセンターにおけるICT活用勉強会」に参加して「Twitterを使った情報発信」等の勉強をしています。今後はFacebookページの作成等にも取り組む予定となっています。



ICT活用勉強会

クリスマスボランティア募集 クリスマスにサンタのお手伝いをしませんか?



対象：18歳以上で、子どもと接することが好きな人
* 高校生不可 * 説明会の参加必須

説明会・講習会：

10月16日（土曜日）・30日（土曜日）

各日とも

説明会 13:30～14:30 講習会 14:30～16:30

災害ボランティアセンター 運営シミュレーション



7月7日(水)トモニーにおいて、コロナ禍でのボランティア受入れを想定した受付を中心とした訓練を行いました。

訓練前の定例会では、ボランティアの体調把握、活動したボランティアの感染が判明した時の対応、各種様式の検討、検温、消毒体制、密にならないための工夫等、様々なことを話し合いました。

ボランティア登録の様式や流れ、使用物品の消毒の方法等の課題が見つかり、実際に動いてみることの大切さを改めて感じました。

